

市長定例会見

2022年 3 月10日

今日お伝えしたいこと

1. **新型コロナウイルス感染症対策**
2. **これからの神戸のまちづくり**
～ポストコロナを見据えた用途地域の見直し～

新型コロナウイルス感染症対策

直近の陽性件数推移

※発表日基準で集計

		金	土	日	月	火	水	木	累計
直近	3/4~3/10	3月4日	3月5日	3月6日	3月7日	3月8日	3月9日	3月10日	
	感染者数	941	1,025	997	297	1,174	1,154	995	6,583
1週前	2/25~3/3	2月25日	2月26日	2月27日	2月28日	3月1日	3月2日	3月3日	
	感染者数	1,123	1,387	1,030	460	1,168	1,251	1,128	7,547
2週前	2/18~2/24	2月18日	2月19日	2月20日	2月21日	2月22日	2月23日	2月24日	
	感染者数	1,371	1,376	1,106	490	1,217	1,369	931	7,860

市内の医療提供体制と感染状況

BE KOBE

現在、兵庫県は **フェーズV感染拡大特別期** です。 3/9 時点

神戸市の 現在の状況

確保病床の使用率

75% (299/398床)

重症者用病床の使用率

43% (23/53床)
(うち、重症者 **23%** (12/53床))

新規感染者 週感染者数
(人口10万人あたり)

350.0人 (3/3~3/9)

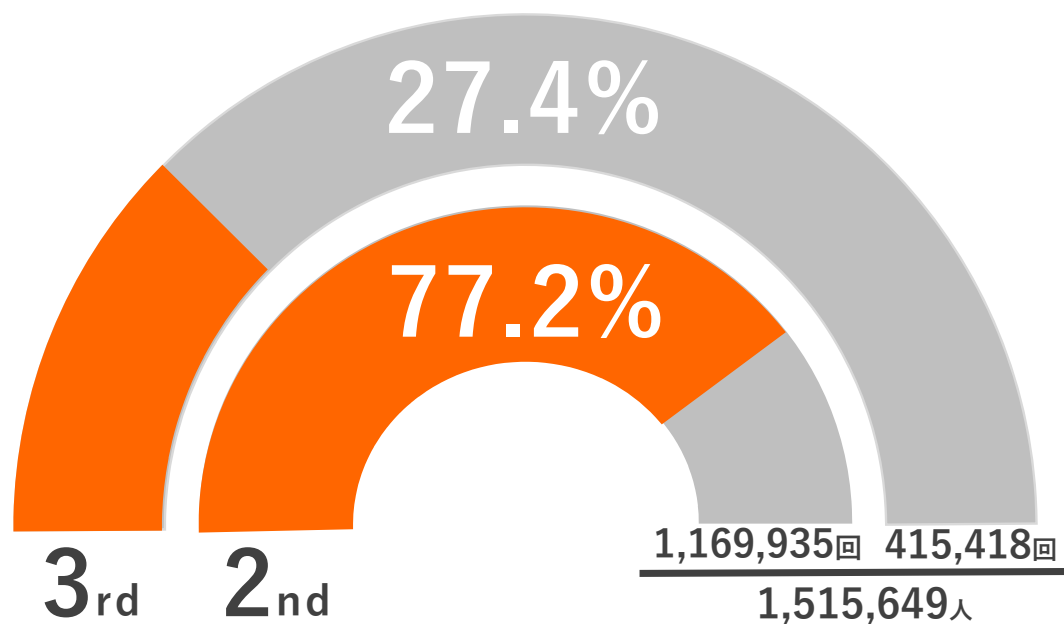
入院率 **3%** (入院者数/療養者数)

感染経路不明割合 **53.2%** (3/3~3/9)

※市外在住者含む

ワクチン接種実績 (3/8 現在)

○接種率 (神戸市民約152万人における)



〔対象人口 (2回目接種完了した方) における接種率 32.0%〕

神戸市に転入するみなさまへ

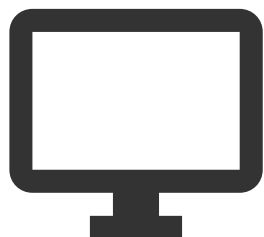
全ての転入者の3回目の接種券

通常、4,5週間以上
かかるころ

申請手続き不要で

転入届提出日から**約3週間後**に送付

神戸市独自



DX化

- ・ 住基情報より転入者情報を自動抽出
- ・ 転入前自治体への情報照会の自動化

により、迅速・正確な接種券送付が可能に

**これからの神戸のまちづくり
~ポストコロナを見据えた用途地域の見直し~**

神戸市のまちづくりの取組み

拠点駅・住環境の魅力向上

「リノベーション・神戸」

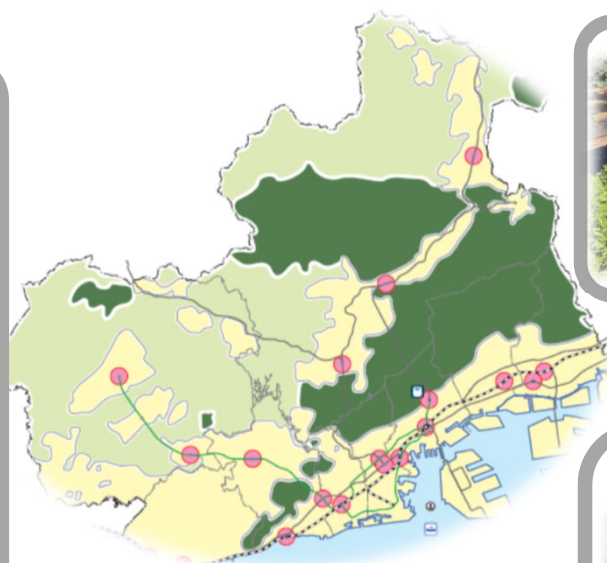


駅前空間高質化
明るいまち
まちなか街灯
防犯カメラ増設

既存ストックの活用



老朽空家解体補助
住み替え補助
空家おこし協力隊



アクセス機能強化

農との共生・里山暮らし



住居建築等規制緩和
新規参入・起業推進
移住・定住促進

都心・ウォーターフロント 非日常の魅力向上・出会いの場へ



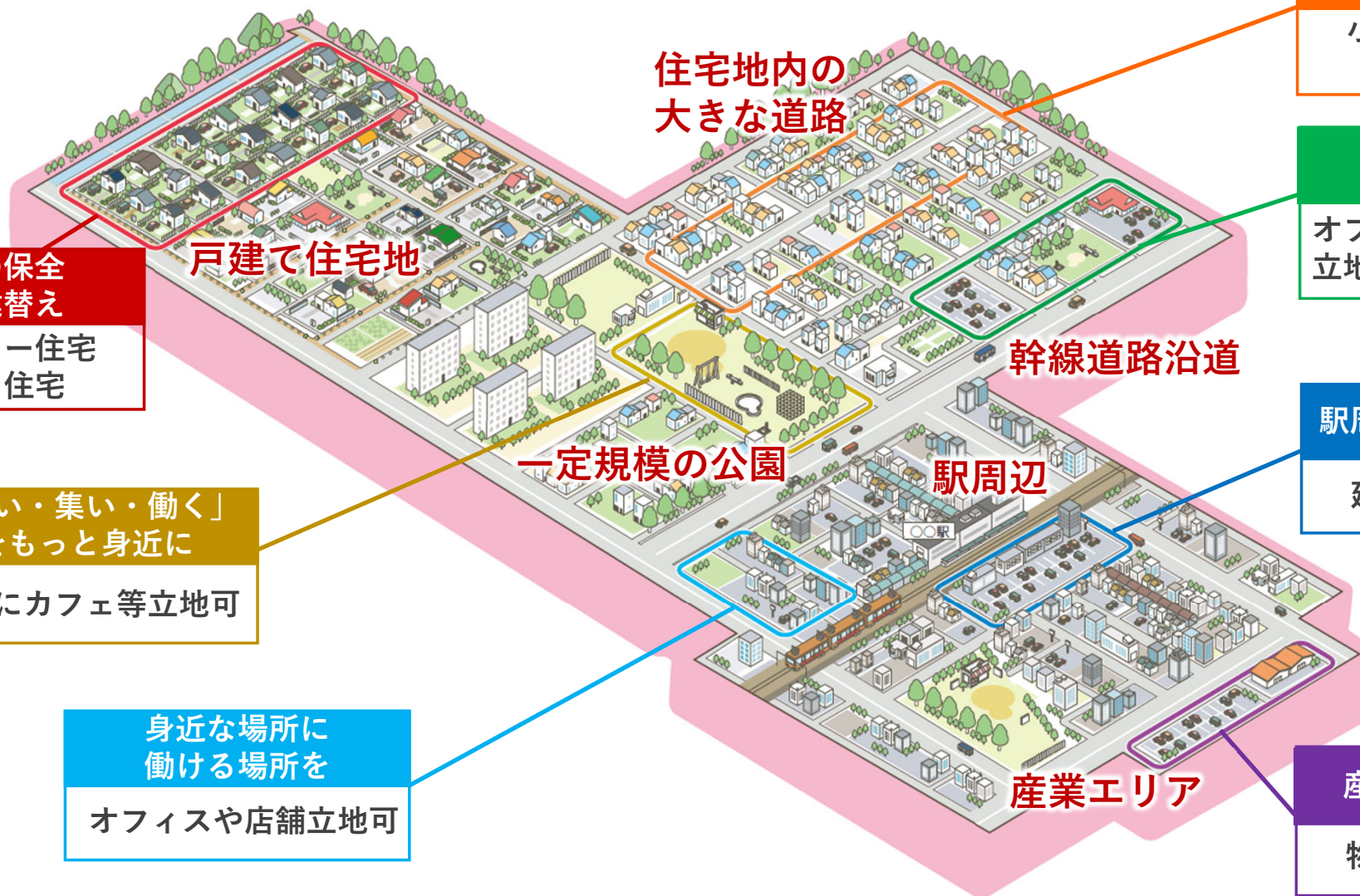
タワマン規制
都市機能の強化
オフィス賃料補助



用途地域の見直し（規制行政の見直し）

既存ストック・地域資源の活用／適度な規制緩和により、
地域・事業者等の投資を促進

7つの見直しのポイント



住宅地内の
大きな道路

戸建て住宅地

一定規模の公園

幹線道路沿道

駅周辺

産業エリア

歩いて暮らしやすい
小規模店舗立地可
(カフェなど)

幹線道路周辺の
生活を便利に
オフィスや店舗立地可
立地可能店舗の種類増

駅周辺に活気と便利さ
建物の容積率増加

産業の維持と発展
物流施設の大型化

住環境の保全
多様な建替え
・バリアフリー住宅
・ゆとりある住宅

「憩い・集い・働く」
をもっと身近に
公園にカフェ等立地可

身近な場所に
働ける場所を
オフィスや店舗立地可

住環境の保全と多様な建替えの促進

容積率・建ぺい率の変更

社会や働き方の変化に対応した戸建て住宅を建て替えやすく

現在

容積率80%
建ぺい率40%



見直し案

容積率100% 建ぺい率50% + 1mの外壁後退



ゆとりある間取りで
二世帯住宅や在宅勤務等に対応



平屋が建てやすく
バリアフリー住宅に対応

歩いて暮らしやすいまちへ

用途地域の変更

住宅地内の大きな道路沿いに小規模なお店が立地可能に

現在

1 低専



独立した店舗

見直し案

2 低専



小さなお店や
カフェなどが可能に
(150㎡まで)

「憩い、集い、働く」をもっと身近に

用途地域の変更

公園に、カフェなどの立地を可能とすることで地域の魅力・利便性向上

現在

見直し案

1 低専など

2 中高



独立した店舗

カフェ・コンビニなどが建てられるように

幹線道路周辺の生活を便利に

用途地域の変更

幹線道路周辺で建てられる生活利便施設や業務施設の幅を広げる



身近な場所にも働ける場を

用途地域の変更

制限が厳しい駅周辺の用途地域を緩和し、職住近接の環境づくり

現 在

1 中高

オフィス
店舗(500㎡超)

見直し案

2 中高

オフィスや中規模の店舗の立地が可能に
(それぞれ1,500㎡まで)

駅周辺に活気と便利さを

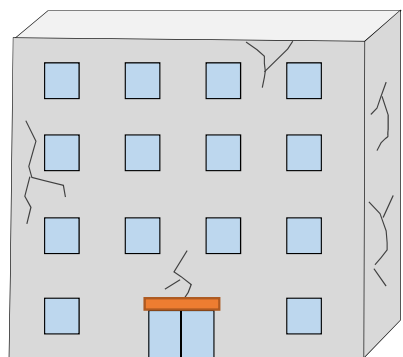
容積率の変更

容積率が比較的低い駅周辺などで緩和を行い、駅周辺の利便性が向上

現在

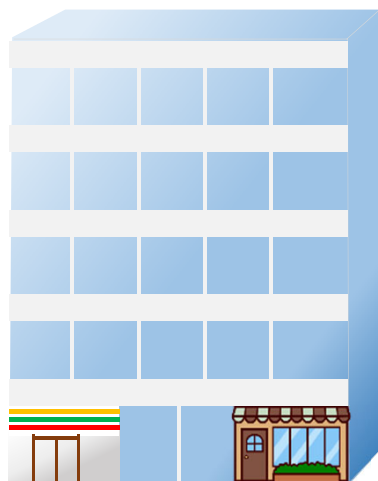
見直し案

容積率200%



老朽化した建物

容積率300%



建替えによる利便性向上

延床面積が増え、
新たな商業施設を導入可能に

産業の維持と発展をめざして

容積率・建ぺい率の変更

産業エリアでの容積率・建ぺい率の緩和、物流施設の建替え更新促進

現 在

容積率200%
建ぺい率60%



見直し案

容積率300%
建ぺい率80%



物流施設の
大型化などに対応

補助制度と連携した相乗効果

用途地域の見直し

- ・住宅団地で多様な建替えを促進
- ・歩きやすく暮らしやすいまち
- ・憩い・集い・働くができる公園に
- ・駅周辺に活気と便利さを
- ・産業エリアにおける容積率緩和

関連施策

- 移住促進
 - ・子育て応援住宅取得補助
 - ・親・子世帯近居・同居住み替え助成
- 産業施策
 - ・産業用地割引施策
 - ・オフィス賃料補助
 - ・コワーキングスペース開設支援
 - ・税優遇

相乗効果

住宅地における建物更新、
移住促進、職住近接対応、産業活性化

用途地域見直しのスケジュール

- | | |
|------------|---|
| 3月17日 | 各エリアの詳細見直し案を公表(HP・ニュース配布)
※広報紙こうべ4月号で掲載記事を全戸配布 |
| 3月17日~5月2日 | 公表した見直し案への意見募集
(用途地域見直しの提案は8/1まで受付) |
| 4月3日~4月19日 | 個別説明会 |
| 10月頃 | 見直し案を修正して公表 |
| 12月 | 都市計画案縦覧 |

これからの神戸のまちづくり

- ▶ 職場、生活利便施設等と居住地が近接した持続可能なまちづくり
- ▶ withコロナなど多様なライフスタイルに対応したまちづくり
- ▶ 民間投資を誘発しながら神戸経済を支えるまちづくり



駅周辺や住宅地、産業エリアなどにおいて、それぞれの特性を活かした
魅力ある持続可能な都市空間の形成を図る